

## 5月25日は世界甲状腺デー

「甲状腺の健康、甲状腺疾患治療の進歩の認識と理解を促進するための日」として、2008年に欧州甲状腺学会の創立記念日である5月25日が世界甲状腺デーとして制定されました。以後、米国、ラテンアメリカ、アジアオセアニアの各甲状腺学会は、世界甲状腺デーの時期に甲状腺疾患の様々な啓発活動を行い、日本甲状腺学会も、2016年から日本各地で市民公開講座による啓発活動を続けています(2020～2022年はコロナ禍の影響で休催)。本年の市民公開講座は、第67回日本甲状腺学会学術集会期間中の10月5日(土)に、パシフィコ横浜ノースにて「バセドウ病を患った女性の成長とその家族を描いた映画『わたしのバタフライ～寛解のとき～』の上映会」を開催予定です。多くの市民の皆様のご参加をお待ちしております。

本年から、日本甲状腺学会は、WebサイトやSNSを駆使して、各方面から世界甲状腺デーの情報発信を行うようにしました。日本甲状腺学会(主催)と日本内分泌外科学会・日本甲状腺協会(共催)、さらに、甲状腺疾患に関連した検査・治療に携わる多くの企業に賛同いただき、2024年5月20日から世界甲状腺デー一周知週間として一斉に情報が発信されます。

### 甲状腺ホルモン検査を受けましょう

甲状腺ホルモンは、成長や発達を促し、  
新陳代謝を盛んにする身体に不可欠なホルモンです。

甲状腺ホルモンの過剰・不足は、  
全身にさまざまな症状が現れます。

甲状腺の病気は女性に多く、女性のライフサイクルとも密接にかかわっています。

**思春期**  
思春期前や思春期の女性では月経不順が起こりやすくなります。

**妊娠**  
妊娠が増えたり、胎児の成長に影響を及ぼしたりします。

**更年期**  
更年期障害とよく似た症状が現れることもあります。

**出産後**  
出産後、育児ノイローゼのような症状が現れることもあります。

こんな症状があればご注意ください

**甲状腺ホルモンの過剰**

- ☑ 疲れやすい
- ☑ 暑がりやで汗をかきやすい
- ☑ 動悸、息切れがある
- ☑ イライラする

**甲状腺ホルモンの不足**

- ☑ 身体がだるく、やる気が出ない
- ☑ 暑がりやで汗をかきにくい
- ☑ むくみやすい
- ☑ 皮膚の乾燥・便秘

気になる症状がある方は医師に相談しましょう。

## 5月25日は『世界甲状腺デー』

「世界甲状腺デー」は、世界中の甲状腺患者さんのために、疾患の啓蒙、予防、克服を目的として、2008年欧州甲状腺学会によって制定されました。日本甲状腺学会では「世界甲状腺デー」に合わせて、甲状腺疾患の啓発活動を実施します。

日本甲状腺学会  
Japan Thyroid Association

2024年5月20日

日本甲状腺学会、日本内分泌外科学会、日本甲状腺協会